

# 「市の仕事って

## 生きた人間が担ってるんだよ」

永野 勝さん

(越谷市職員組合委員長)

越谷市中央市民会館 5階 第7会議室

3月1日(金)18:30~21:00



このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働き方や暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。1回、1回、話し手をお願いし、そのお話を口火にしておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、当会の発足から現在まで、さまざまなご協力をいただきながら、縁の下の力持ちに徹して来られた市職員組合の委員長・永野勝さんをお招きします。

終了後お時間のある方は、近くファミレスで、おしゃべりの続きを楽しみましょう。

越谷市中央市民会館

5階 第7会議室

会費:200円(資料代)

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

048-964-1819 (職場参加ビューロー世一緒)

第47回 共に働くまちを拓くべんきょう会

# 第47回 共に働くまちを拓くべんきょう会



市の仕事って生きた人間が担ってるんだよ

話し手

永野 勝 さん

(越谷市職員組合委員長)



私たちは「市」というと、あの市役所の「建物」をイメージしたり、その中の障害福祉課とか就業支援課とかいった「仕組み」やそこが担当する「施策」をイメージするのではないのでしょうか。しかし、ともすれば忘れてのこと…これらのすべては生身の人間によって担われているんだということ。今回はそこに焦点をあててみたいと思います。

ふりかえれば、越谷市障害者就労支援センター発足の土台ともなった障害者地域適応支援事業のさきがけは、市職員組合の協力で実施された市立病院組合事務所での知的障害者の支援付き実習でした。

なぜ市職員組合が受け入れに踏み切ったのか？それは組合がずっと前から自分たちの職場の中での格差、そこに発する差別に対して目をつぶらずに取り組んできたからです。そして、地域で生きる人々に対してもお客様としてだけでなく共に生き・共に働き・共に考え・試みる者同士として向かい合おうという志を絶やさずに来たからでした。

あらためていま「市」の中心で、また周辺で、「市」を担う人間たちの生き方、働き方、悩みと希望にふれたいと思います。

共に働くまちを拓こうという私たちの前に、「市」という世界が横たわっています。つい先日市長への施策提言を行いました。学校、調達、公共事業、入札、起業、施設外就労、ピア…。しかし、そこにはいつも「人間」がいるのです。人と人がどんな位置で出会うのか、どう関わり合えるのか？学び、考え合い、新たな一歩を進めたいと思います。

3月1日(金)18:30~

越谷市中央市民会館  
5階 第7会議室

会費:200円(資料代)

(終了後、時間のある方は  
ファミレスでおしゃべりしま  
しょう)

NPO法人障害者の職場  
参加をすすめる会

048-964-1819

職場参加ビューロー世一緒